

に注目しながら、これからも調査していきたいと考えています。

また、7月と2月の時期別および噴火湾の海域別の比較・検討も今後、行っていきたいと考えて

います。

(本間隆之 函館水試調査研究部
報文番号 B2310)

各水試発トピックス

後志教育局新任教師の初任者研修(地域研修)を実施

平成21年6月3日、中央水試において平成21年度後志教育局主催の新任教師初任者研修が実施されました。

この研修では、後志管内で本年度採用された公立小・中・高校、公立特別支援学校の新任教師9名を対象に、教員としての視野を広げ教育活動の充実を図ることを目的に実施されたものです。

午前中は資源増殖部の秋野研究職員が講師として、北海道水産林務部の重要課題にもなっている「北海道のコンブと磯焼けについて」講義を行い、午後からは当場の前浜でプランクトンネットを曳き採取した生物を顕微鏡で観察しました。

この日はとても気持ちの良い天候にも恵まれたため、参加された新任先生達は輝く笑顔で一生懸命研修に取り組まれていました。

中央水試では今後もこの様な依頼や要請に快く応じ、地域貢献に寄与して参りたいと思っています。



前浜での生物採取



講義を聴く新任教師



顕微鏡での生物観察

(古明地恵一 中央水試企画情報室)